

緊急の帝王切開術を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むよう下記計画に基づき援助します。

お名前 様 主治医 受持ちグループ

日付	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	退院後	
	術前	術後								
目標 退院基準	<ul style="list-style-type: none"> ・パスの内容を知っている ・必要物品が準備できる 		<ul style="list-style-type: none"> ・子宮回復過程が正常である(悪露性状) ・子宮回復過程が正常である(子宮硬度が良好である) ・処置した所の痛みが許容範囲内である ・イレウス(腹痛・嘔気・嘔吐)の症状がない ・褥瘡(床ずれ)がない ・転倒予防行動(転倒しないように注意した行動)が実施できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮回復過程が正常である(悪露性状) ・子宮回復過程が正常である(子宮硬度が良好である) ・処置した所の痛みが許容範囲内である ・イレウス(腹痛・嘔気・嘔吐)の症状がない ・褥瘡(床ずれ)がない ・転倒予防行動(転倒しないように注意した行動)が実施できる ・児に話しかけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮回復過程が正常である(悪露性状) ・子宮回復過程が正常である(子宮硬度が良好である) ・排便がある ・貧血(ふらつき)の症状がない ・処置した所の痛みが許容範囲内である ・褥瘡(床ずれ)がない ・転倒予防行動(転倒しないように注意した行動)が実施できる ・児の世話ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮回復過程が正常である(悪露性状) ・子宮回復過程が正常である(子宮硬度が良好である) ・育児技術を獲得できる ・傷口の腫れや熱感がない ・体温上昇がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮回復過程が正常である(悪露性状) ・子宮回復過程が正常である(子宮硬度が良好である) ・育児技術を獲得できる ・傷口の腫れや熱感がない ・体温上昇がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児不安の解決方法を理解できる ・育児技術を獲得できる ・社会資源の活用方法がある 		
安静度	手術室入室するまでお待ち下さい。		ベッド上で安静ですが、手足は動かすことができます。体がつかない場合は看護師に申し出下さい。		午前中には看護師が付き添って、歩行します。その後は制限はありません。		制限はありませんが、傷の痛みなどがある場合は、無理をしないようにしましょう。お母さんの状態が良ければ母児同室を行います。		退院日です。	退院後すぐは赤ちゃんの世話と自分の身の回りの世話程度にとどめ、ゆっくりと休息を取るようにしましょう。
排泄	尿管を入れます。	尿管が入りますので、トイレに行く必要はありません。	歩行確認後、尿管を抜きます。		歩いてトイレに行っていただけます。必要であれば車椅子でトイレまでお連れします。					トイレは我慢せずにこまめにいくようにしましょう。
清潔	手術部位の除毛をします。		日中に体を拭き、着替えをします。		シャワー浴ができます。		退院後、許可があるまではシャワーのみです。入浴はできません。		1か月健診までシャワー浴となります。清潔を保つようにしましょう。	
食事	飲んだり食べたりしてはいけません。点滴をします。		手術から帰って6時間後から水を飲み始めます。(看護師の指示に従ってください)		医師の指示で食事が開始となります。始めはお粥からです。		おっぱいの状況によって甘い物・乳製品などは控えます。		おやつはほどほどにし、バランスよく食べましょう。	
検査	採血があります。赤ちゃんの心拍音の確認をするモニターをつけます。またの方はレントゲンや心電図検査をする場合があります。		採血があります。		尿検査があります。		採血があります。		1か月健診を必ず受診しましょう	
処置	手術部位の除毛をします。赤ちゃんの心拍音を確認します。病衣に着替え、弾性ストッキングを着用します。		足に血栓予防のポンプを巻きます。歩けるようになったら外します。		医師の診察があります。背中痛み止めを抜きます。		赤ちゃんの退院診察があります。お母さんの退院診察があります。			
注射	吐き気予防の点滴があります。		手術後1日目の眠前まで点滴を続け、終わったら抜きます。							
内服薬	常用薬がある場合は、主治医の指示に従ってください。				痛み止めの処方があります。					医師の指示に従ってください。
教育説明その他	麻酔科の医師が説明に来ます。		お母さんと赤ちゃんの状態により、お部屋で赤ちゃんの面会をします。		お母さんと赤ちゃんの状態によって、授乳ができます。		お母さんと赤ちゃんの状態により母児同室ができます。適宜赤ちゃんのお風呂の入れ方、退院後の生活のお話しをして行きます。気分の変化などがあれば相談してください。		多量の出血、発熱、腹痛などがある際は病院に連絡してください。	
備考	千葉大学医学部附属病院 産科 2024年6月作成									

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。

ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。